**様式１　（受講者　→　校長）**

**中堅教諭等資質向上研修（小・中・特）**　**受講者に関する調査票**

　この「受講者に関する調査票」は、校外研修で開設するコース別研修の受講に当たって、受講者の資質・能力、適性等を踏まえた研修計画を立てるための資料とするものである。

|  |
| --- |
| ・「分野」欄に示されている６つの分野は、コース別研修のコースと一致している。  ・「内容」欄は、各分野で研修の必要性を判断する際の視点を示している。 |

＜記入方法＞

① 最も研修の必要性があると考える分野の「研修の必要性」欄に○印を記入する。

　　　　（○印を記入する場合は、校内研修での実践が可能であることを確認する。）

②　○印を付けた分野の「理由欄」に、その理由を記入する。

③　「特記事項（受講者）」欄は、勤務経験、研修履歴、適性、その他本研修を実施する上で特記すべき事柄について記入する。

※　特別支援学校においては、児童の障害特性に配慮した取組が行えるかという点を踏まえること。

（受講者名 ）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分  野 | 内　容 | 受講者 | | 校　長 | |
| 研修の  必要性 | 理由 | 研修の  必要性 | 理由 |
| 教  科  経営 | 〇　自校の学習上の諸問題を解決するために、児童生徒の実態を把握・分析し、授業改善に向けて組織的に校内研究を推進する。  〇　高い専門性を身に付け、周りにある教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れて、学校全体の授業力向上に積極的に参画する。  〇　主体的・対話的で深い学びを組織的に推進し、授業に関する適切な指導・助言を行う。  〇　学力向上や授業評価等の視点をもち、学年内や教科内で指導計画の改善を行う。 |  |  |  |  |
|  |  |
|  | |  | |
| ②生  徒　指　導 | 〇　生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、関係機関や小・中・特・高との連携を図りながら、自校の生徒指導体制づくりを推進する。  〇　教職員の多様な専門性を活用し、連携・協働して組織的に児童生徒の指導・支援、教育相談等を行う。  〇　教職員の生徒指導力を高めるために、教職員に対して指導・助言したり、職員研修を企画したりする。  〇　いじめや不登校等の現状について常に情報を収集し、予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導や支援を行う。 |  |  |  |  |
|  |  |
|  | |  | |
| ③学年・学級経営 | 〇　教育目標や学校の経営方針を踏まえて、学年・学級の経営方針を決定し、他の教職員と連携を図りながら、見通しをもって学年・学級運営を推進する。  〇　児童生徒の生活・学習・行動・健康の実態把握を行い、組織的に分析・指導・支援を行う。  〇　自己存在感や所属感、学習意欲を高める指導・支援の在り方について、組織的に校内研究を推進する。  〇　同僚の教職員に適切な支援、助言を行いながら、よりよい学年（学級）経営のための改善と、生じている諸問題を解決するための手立てを講じる。 |  |  |  |  |
|  | |  | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分  野 | 内　容 | 受講者 | | 校　長 | |
| 研修の  必要性 | 理由 | 研修の  必要性 | 理由 |
| ④  特別支援教育 | 〇　児童生徒の実態把握や分析を組織的に行い、一人一人の障害の状態に応じたきめ細やかな指導につながる個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成する。  〇　児童生徒が主体的に活動に取り組むための指導法や指導体制づくりを全校体制で推進する。  〇　関係機関との連携や活用を積極的に進め、組織的・継続的な支援を行う。  〇　特別支援教育に関わる高い専門性を身に付け、自校の課題解決のために組織的・計画的に校内研修を企画・立案し、必要に応じ指導・助言をする。 |  |  |  |  |
|  |  |
|  | |  | |
| ⑤教育課程 | 〇　学校の教育目標の実現を目指し、学校内外で連携を密にして、地域や学校の実態に即した教育課程を編成したり、重点化された評価計画を作成したりする。  〇　家庭や地域社会、関係機関等からの要望等の情報収集に努め、連携・協働のネットワークを形成する。  〇　見通しをもって学校評価を行い、得られた諸問題の解決に向けて全校体制で取り組む。  〇　教育課程全体を通した取組を通じて、教科横断的な視点から教育活動の改善を行う。 |  |  |  |  |
|  |  |
|  | |  | |
| ⑥  キャリア教育 | 〇　児童生徒が夢や希望をもって生きる態度を育成する進路指導やキャリア教育の指導計画の整備に参画する。  〇　児童生徒が、目標とすべき将来の生き方や進路を主体的に選択し、その実現を目指して努力できるように、組織的・計画的に指導・支援する。  〇　一貫した指導体制の構築や質の高い豊かな教育の機会創出のために、小・中・特・高や外部機関と連携する。  〇　税や金融、アントレプレナーシップ等の教育活動を、全校や学年体制で推進する。 |  |  |  |  |
|  | |  | |

|  |  |
| --- | --- |
| 特記事項（受講者） | 特記事項（校長） |
|  |  |